



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



①記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



②記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

一般的な注意事項



警告



分解・修理
改造禁止

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



濡れ手禁止

●電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



水濡れ禁止

●水につけたり、水をかけたりしないこと
ショート感電のおそれがあります



禁止

●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないこと
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります
※コードやプラグの修理は販売店にご相談ください



禁止

●電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないこと



禁止

●電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まないこと



禁止

●コンセントを床面に設置したりころがした状態で、電源プラグを差し込んで使用しないこと
感電・漏電・火災の原因になります



禁止

●延長コードは使用しないこと
発熱による火災の原因になります



禁止

●コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないこと
感電・ショート発火の原因になります



禁止

●設置の際、電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけないこと
感電・漏電火災や水漏れの原因になります



設置注意

●本機の設置は、お買上げの販売店または専門の業者に依頼する
設置には専門の知識と技術が必要です。お客様自身で設置され不備があると、水漏れや感電・火災・事故の原因になります



注意

●定格 15A 以上のコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります



ほこりを
とる

●電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと
火災の原因になります



注意

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります
※傷んだプラグ・ゆるんだプラグは使用しないでください



奥まで
差し込む

●電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因になります



接触禁止

●使用中や使用後しばらくは高温部に触れないこと
やけどのおそれがあります



禁止

●運転中はドアを開けないこと
高温の洗浄水や湯気が出て、やけどをするおそれがあります



アースを
取り付ける

●アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります



注意

●食器の取り出し、残さいフィルターなどのおそうじ、お手入れは
運転終了後 30 分以上経過してからおこなうこと
やけどのおそれがあります



注意

●凍結のおそれのあるところへ設置するときは必ず水抜き作業を
おこなったあと、止水栓を閉める

すべての食器洗い機は工場テストされています。このテストで使用された水が機器の内部に残っていますが、食器洗い機は新品であり、すでに使用されたわけではありません。

●本書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●設置・施工時における、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについて、当社は責任を負いかねます。

●お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。据付設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。

■ 設置に関する注意事項



- 本製品は「消防法告示第一号（対象火気設備等および火気器具等離隔距離に関する基準）」に適合しております。建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	(解放)	0

- 本製品は、公益社団法人 日本水道協会により『給水装置の構造および材質の基準（厚生省令）』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。
- 水道水圧：作動水圧 1.0~10kg/cm² (0.1MPa~1MPa) の範囲であることを確認してください。
- 本製品はすべてポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず 300mm 以上 (HT40 の場合)、または 400mm 以上 (HT20 の場合) 立ち上げてください。
- 給水管は電磁弁付給水ホースを上向きに取り付けるため、床もしくは直下の装置・造作等から 400mm 以上確保してください。
- 電源、給・排水設備は隣接する場所に設けてください。(6 ページ参照)
- 給水バルブはユーザーが容易に操作できる位置・向きに取り付けてください。
- 設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前に引き出せるようにしておいてください。(段差をつけないでください。)
- 本体の金属部分が、家屋の金属板や流し台のステンレス板に電氣的に接触しないようにしてください。漏電した場合、火災の原因になります。
(法令：電気設備の技術基準の解釈)
- 給・排水工事はすべて水道法、建築基準法、およびお住まいの地域の条例、規定に従ってください。
- 必ず D 種接地工事をおこなってください。
電源：単相 200V 専用コンセントアース付
[露出型] パナソニック WK3012
[埋込型] パナソニック WN1112K
- 万一の漏電事故時の安全確保のため、必ず漏電遮断器を取り付けてください。(法令で規定されています。)
- 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。故障の原因になります。
- 井戸水、温泉水、地下水は使用しないでください。

- 電源コードを切断、および直結することは絶対にしないでください。それぞれの機器に単独で、専用の電源コンセントを設けてください。
- 水場や浴室など、湿気が多い場所に設置しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 直射日光が当たる場所、窓や換気扇のない場所に設置しないでください。
- 本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結のおそれがある場所（室温 0℃ 以下）には設置しないでください。
- 給水装置工事（配管工事）は、各市町村に施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。

電気工事、アース工事は、すべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じておこなってください。

■ ブレーカー付単相 200V・15A 専用回路（アース付）

露出型：WK3012

埋込型：パナソニック WN1112K

※必ず D 種接地工事をおこなってください。

■ 漏電遮断器について

お願い

- 配線部の異常発熱防止や万一の安全のため、漏電遮断器を設置してください。
※主幹に漏電遮断器が設けられている場合には、新たに漏電遮断器を設置する必要はありません。

推奨品

住宅分電盤用小型漏電ブレーカー
品番 BJS203（パナソニック）
定格電流 20A・感度電流 30mA (AC100-200V 両用)

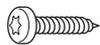
- コンセントは、水滴が飛ばないように、床から 500mm 以上の位置に取り付けてください。
- ホコリを蓄積させないように、ユーザーがプラグを抜き差しできる位置に取り付けてください。

部品・付属品

次の部品が同梱されていることを確認してください。



トルクスねじ
(φ4 × 16)
(2 本)



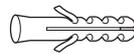
トルクスねじ
(φ4 × 20)
(4 本)



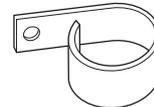
トルクスねじ
(φ3.5 × 40)
(4 本 + 予備 2 本)



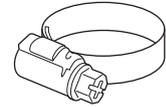
トルクス皿ねじ
(φ4 × 25)
(1 本)



アンカー
(1 本)



ホースクランプ
(1 個)



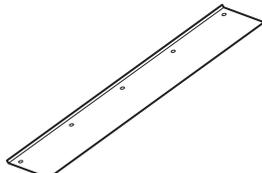
ホースクランプ
(ネジ式)
(1 個)



異形ニップル
(1 個)



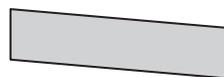
結束バンド
(1 本)



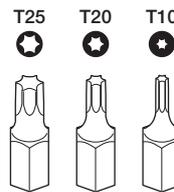
天板保護板
(1 枚)



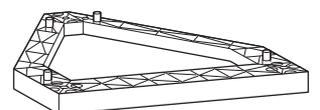
トルクス皿ねじ
(天板保護板取付用)
(5 本)
(φ3 × 16)



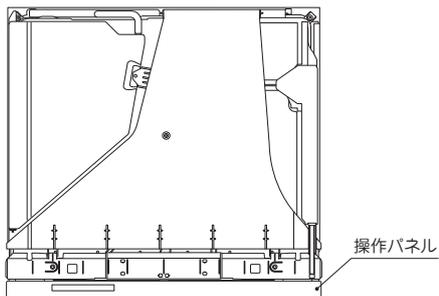
遮音マット
(1 個)



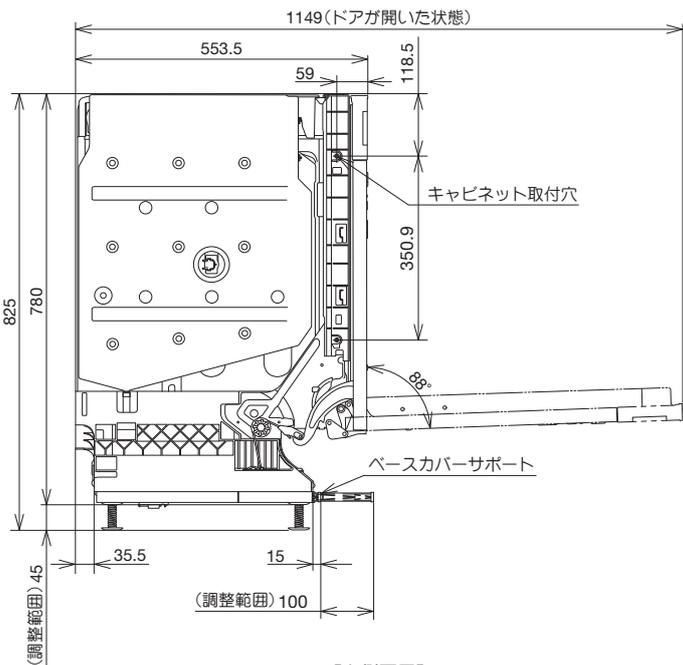
トルクス用ビット
(3 本)



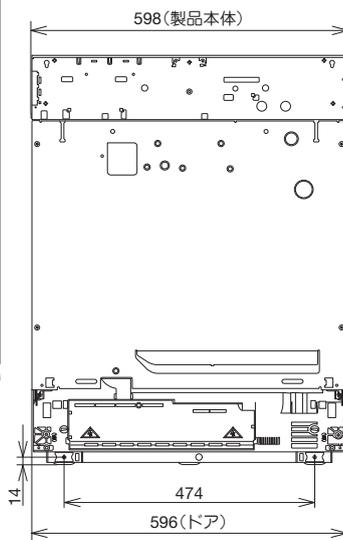
本体高さ調整板
(1 個)



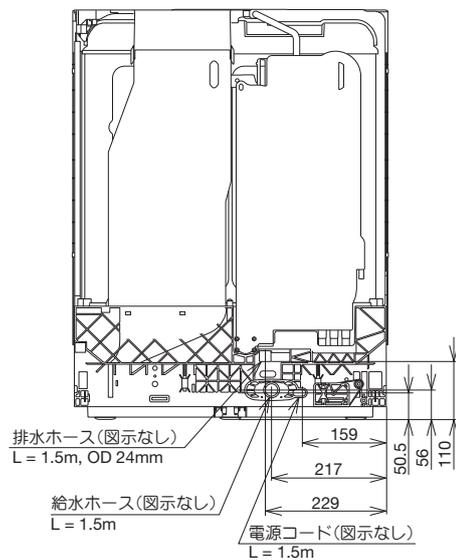
【上面図】



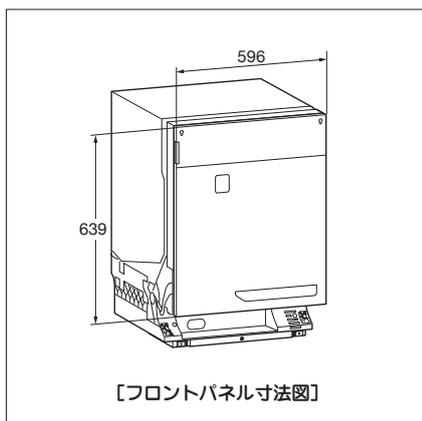
【左側面図】



【正面図】



【背面図】



【フロントパネル寸法図】

配管例 (横配列の場合)

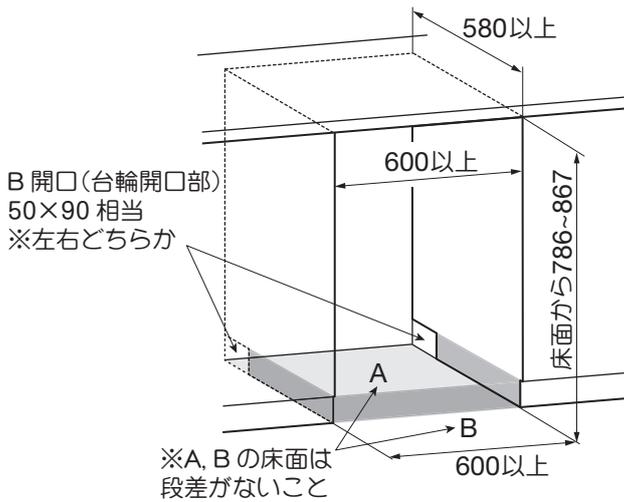
横配列にすることで、デッドスペースになりやすいシンク下の収納奥スペース部などを有効にお使いいただけます。
 (※奥行きが 150mm 以上ある場合)

本体のビルトインと、所要設備のスペースのキャビネット加工・開口

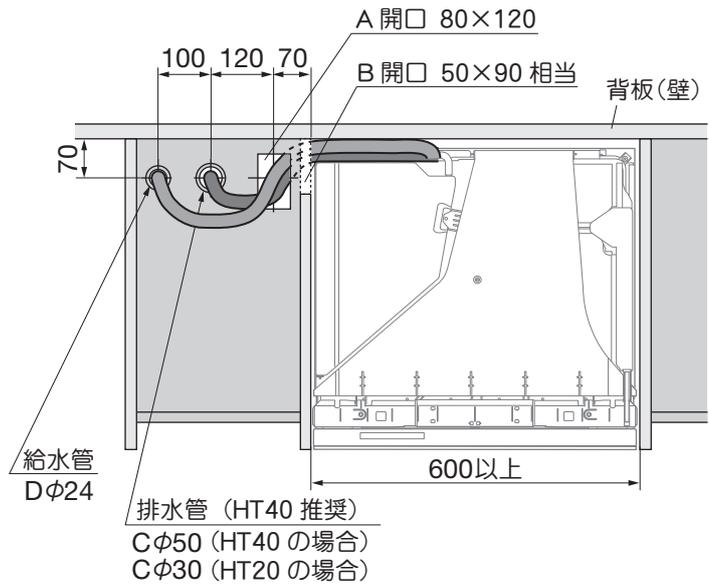
※ 本体高さは 780 ~ 861mm の調整が可能です。

- A：給排水ホース・電源コード通し穴
- B：給排水ホース・電源コード引き込み穴
- C：排水管通し穴
- D：給水管通し穴

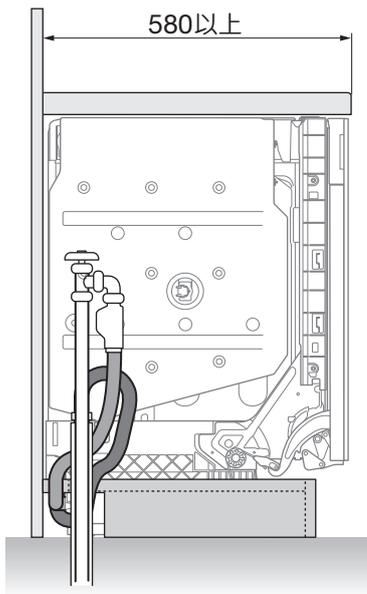
本体ビルトイン部のキャビネット



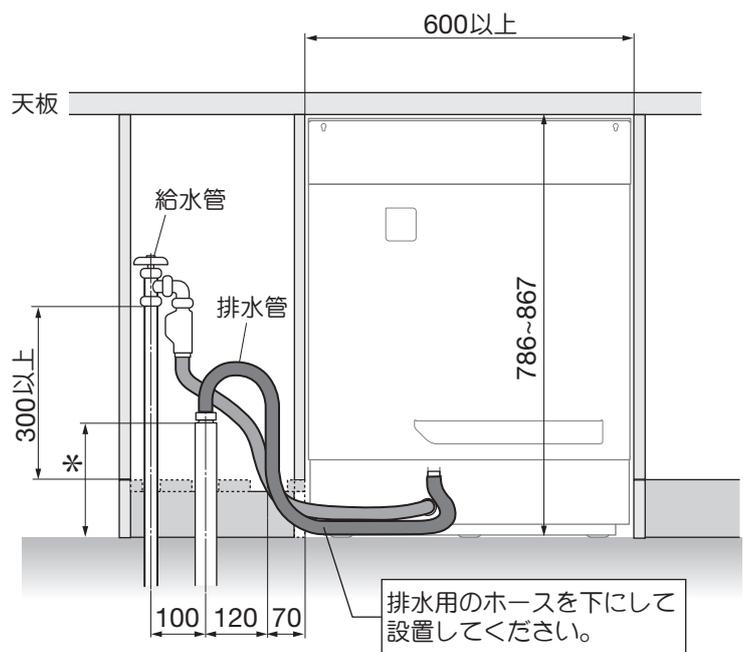
上から見た図



横から見た図



正面から見た図



※: 排水管高さ
 300 以上 (HT40 の場合)
 400 以上 (HT20 の場合)

※ 上図は代表的な設置例です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置を変えてください。

※ 所要設備スペース内で記した寸法は、必ずお守りください。(これらより小さい場合、排水ホース折れや排水不良の原因になります。)

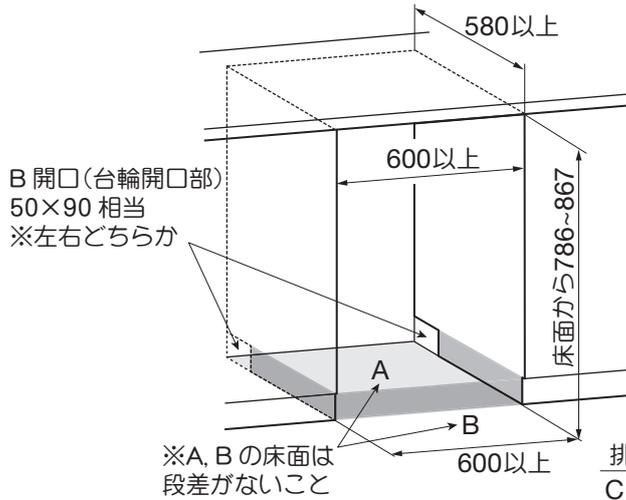
配管例 (縦配列の場合)

本体のビルトインと、所要設備のスペースのキャビネット加工・開口

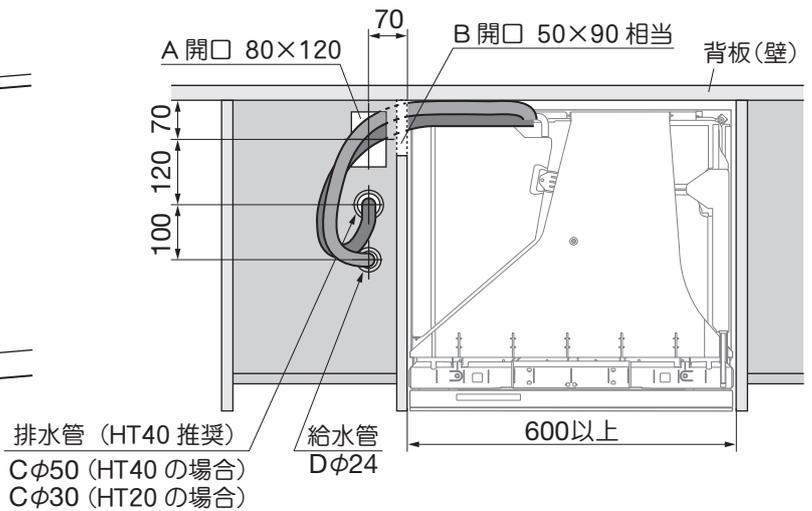
※ 本体高さは 780 ~ 861mm の調整が可能です。

- A: 給排水ホース・電源コード通し穴
- B: 給排水ホース・電源コード引き込み穴
- C: 排水管通し穴
- D: 給水管通し穴

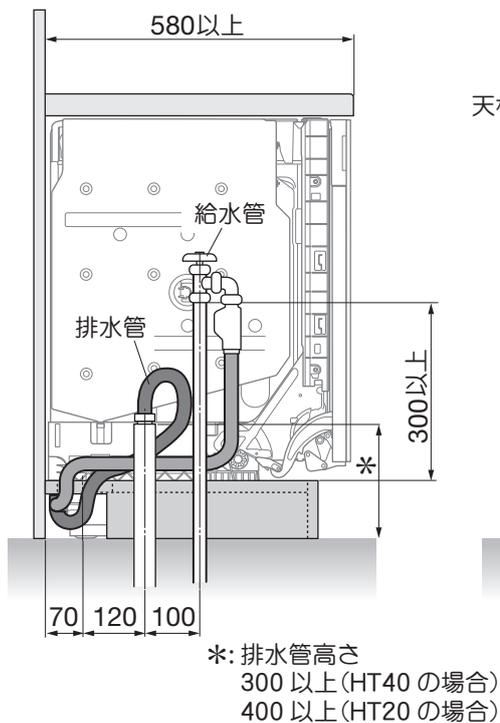
本体ビルトイン部のキャビネット



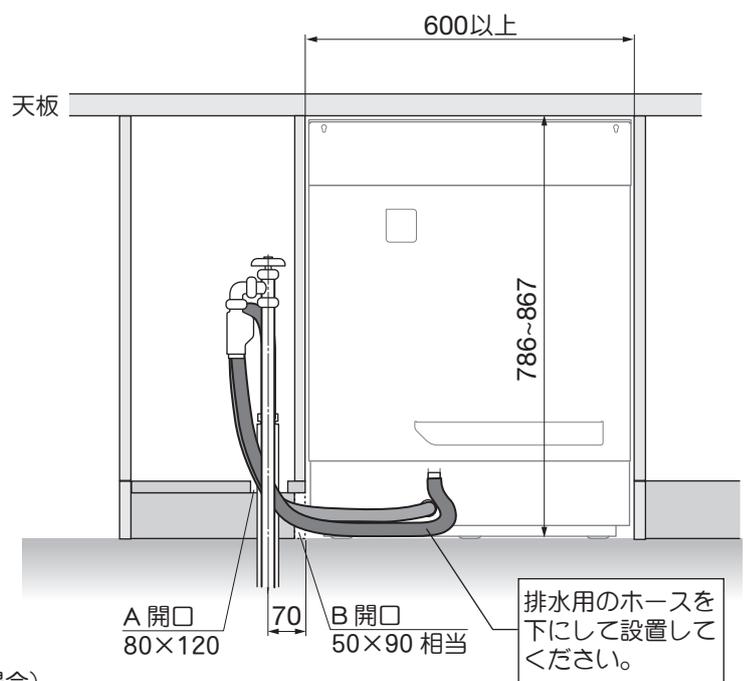
上から見た図



横から見た図



正面から見た図



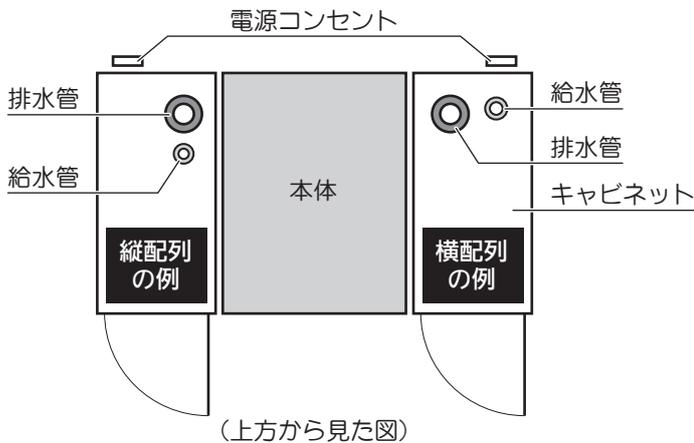
取り付け前の準備

お願い

- 接続前に、必ず止水栓を開いて水を出してください。
(配管内にたまったゴミの洗い流しと、エア（気泡）抜きのため)
- 給水ホースがまっすぐになるように、床から給水弁接続部までの高さは、最低 400mm 以上確保してください。
給水不良の原因となる場合があります。
- 給湯接続は、45°Cから 60°Cに温度を保つことのできる温水設備の場合、給湯での接続も可能ですが、即出湯式給湯器との接続や水圧が充分でない場合は、給水での接続をおすすめします。

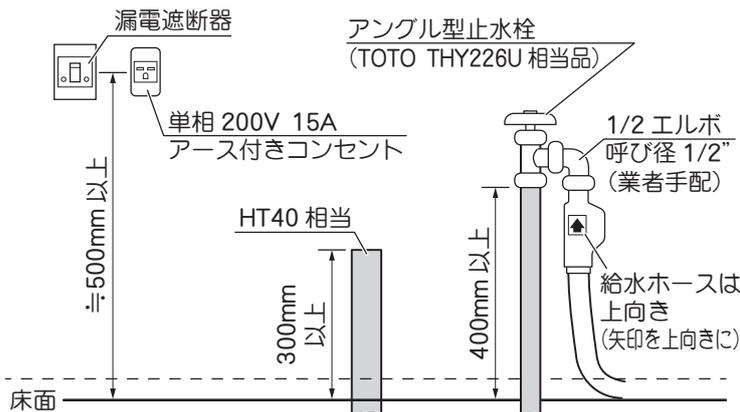
給水・排水・電源位置

- 電源・給水・排水設備は設置と点検のため、本体背面には設置せず、隣接する場所（キャビネット内等）に準備してください。
- 給水の止水栓が操作しやすい位置に取り付けてください。



給水ホース長	1.5m
排水ホース長	1.5m

給水管・排水管・電源の高さ位置



電気

専用の漏電遮断器の設置を推奨します。

排水

排水管 (HT管推奨) は床面から300mm以上の立上げをし、食洗機の水ホースを接続してください。
※排水工事はすべて水道法、建築基準法、各都市での条例や規定に従ってください。
※排水管はHT40の使用を推奨します。

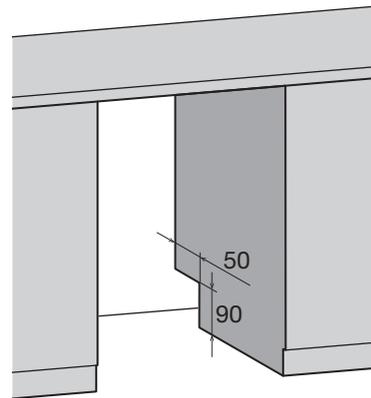
給水

給水管は本体底面から400mm以上の立上げをし、1/2" 止水栓を接続してください。
※作動水圧: 0.1~1.0Mpa

配管類設置に必要な開口寸法

給水・排水管および電源線を通すため、配管類を通す側のキャビネット側面に、右図の空間を設けてください。

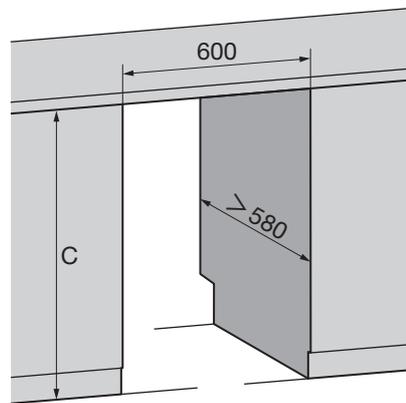
(単位: mm)



設置寸法・設置高さ

製品の設置高さは必要に応じ、以下の要領で調整することができます。

(単位: mm)



■ C寸法が 786 ~ 831mm の場合

本体高さ調整板は使用しません。

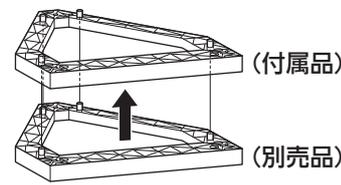
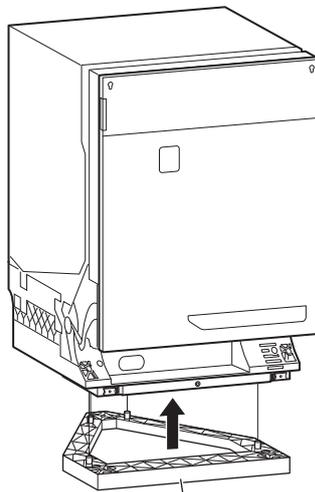
■ C寸法が 822 ~ 867mm の場合

本体高さ調整板を 1 個使用します。

■ C寸法が 857 ~ 902mm の場合

本体高さ調整板を 2 個使用します。

※本体高さ調整板のうち 1 個は別途手配が必要です。



本体高さ調整板(1 個付属)

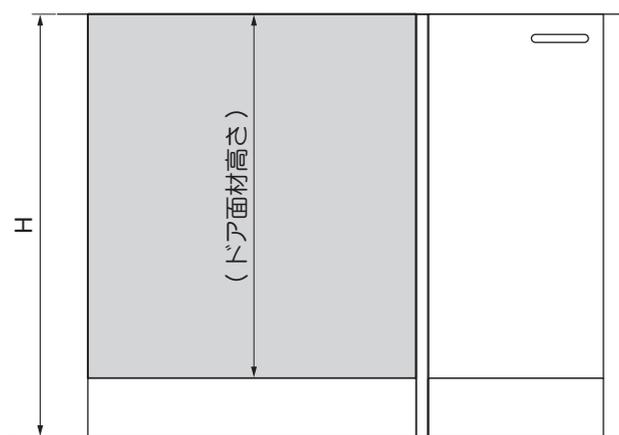
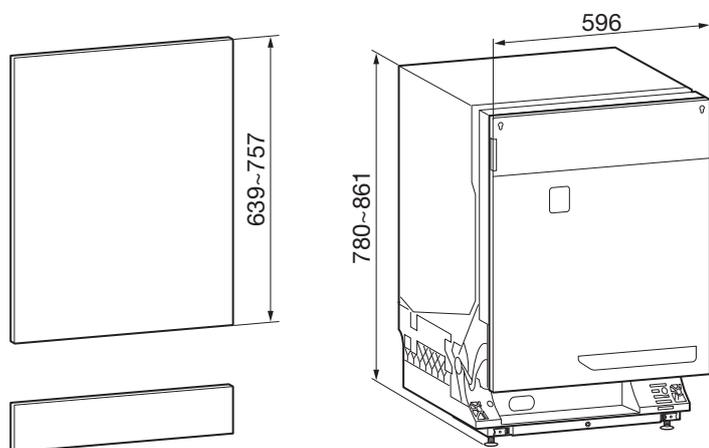
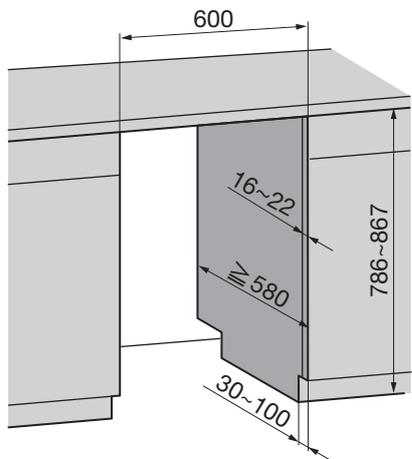
本体の高さを 35mm かさ上げすることができます。

取り付け前の準備 (つづき)

ドア面材の作成

下図の要領にてドア面材を作成してください。

(単位：mm)



オールドア(フルフェイスタイプ)の場合

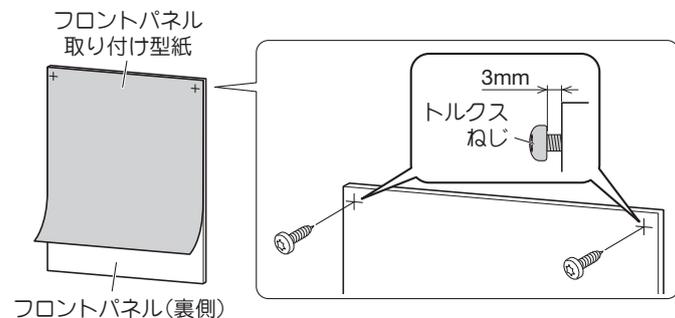
- 高さの範囲(ドア面材のみ) = 639 ~ 757mm
- ドア面材の幅 = 596mm
- ドア面材の厚み = 16 ~ 22mm
- ドア面材の重さ(60cmタイプ) = 4 ~ 8.5kg

フロントパネルの準備・ドアのダンパー調整

本体ドアにフロントパネルを仮固定し、ドアの開閉を調整します。

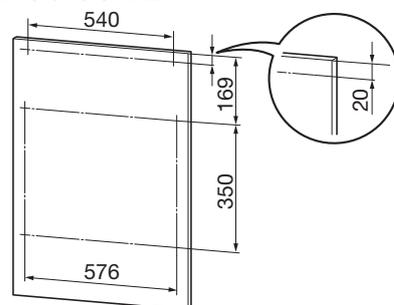
1 フロントパネルにトルクスねじ 2 本を取り付けます。

フロントパネルの裏側に別紙の型紙をあてがい、右図位置にトルクスねじ (φ4 × 16, 付属品) 2 本を取り付け、すきま 3mm 程度まで締め付けます。

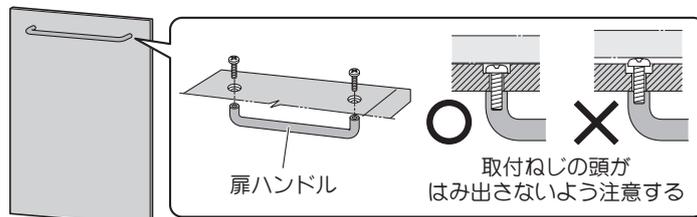


■ パネル固定 参考取付寸法図

(単位：mm)

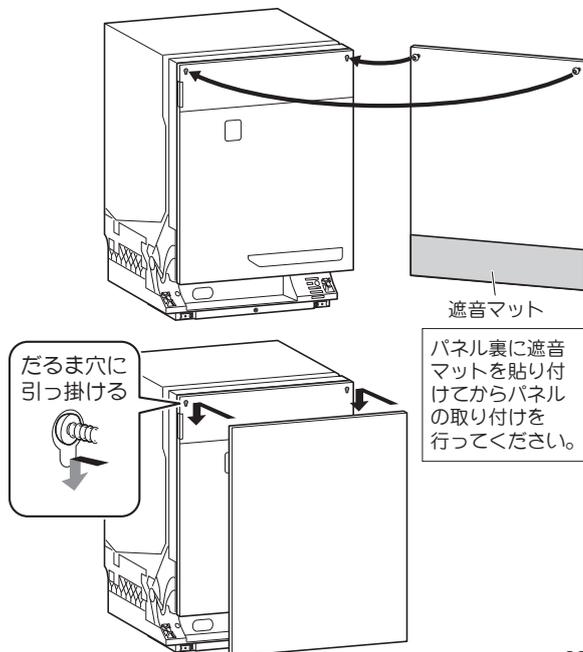


■ 扉ハンドル (取って) を取り付ける場合



2 本体ドアにフロントパネルを引っ掛けます。

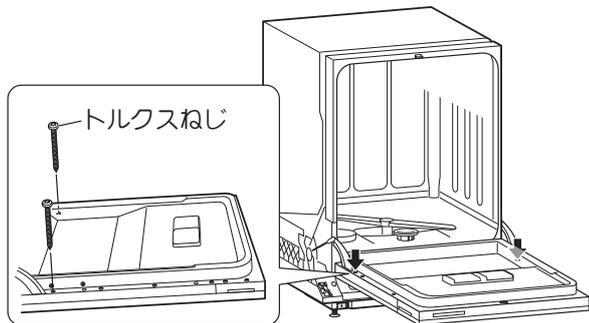
本体ドアの下図位置にあるたるま穴 2ヶ所に、手順 1 で取り付けたねじを引っ掛けます。



取り付け前の準備（つづき）

3 フロントパネルを仮固定します。

ドアをゆっくりと開き、右図矢印の2ヶ所にトルクスねじ（φ3.5×40、付属品）2本を取り付けてフロントパネルを仮固定します。
※ フロントパネルがガタつかない程度まで締め付けてください。

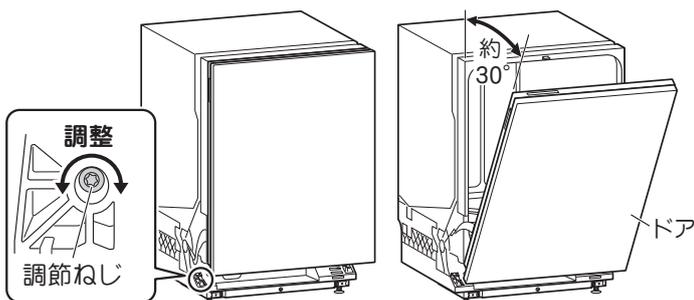


4 ドアの開閉ダンパーを調整します。

フロントパネルを仮固定した状態でドアを開閉し、必要に応じてドアの開閉ダンパーを調整します。

※ ドアを開いた際に、ドアが30°程度開いた状態で止まるよう調整してください。

調整は本体前面左右下方にある穴にトルクスレンチを差し込み、奥にあるトルクスねじを回して適宜調整してください。



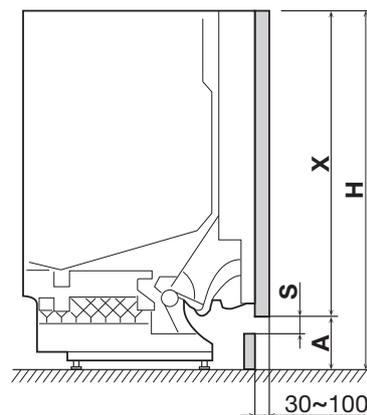
スプリングの種類	面材重量
工場出荷時の標準スプリング 【グレード1：青色】	4～8.5kg
強化スプリング 【グレード2：黄色】*	8.5～12.5kg
強化スプリング 【グレード3：緑色】*	12.5～17.5kg
強化スプリング 【グレード4：赤色】*	17.5～21kg

(*は別売品)

※ フロントパネル／装飾パネルの重量により、対応許容範囲は異なります。

巾木の準備

■フロントパネルと巾木のクリアランス



(単位：mm)

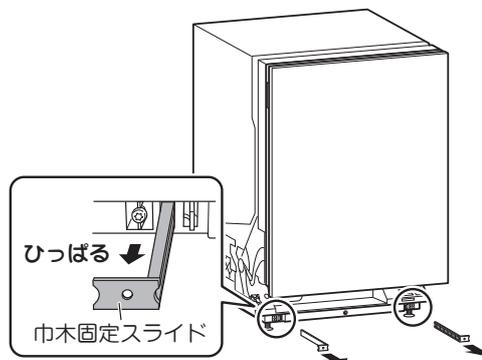
H (床面からキャビネット下面)

	790	800	810	820	830	840	850	860	870	880	890	900	910	920	927	S	
A (床面から面材下端)	Min	27	37	47	57	67	77	87	97	107	117	127	137	147	157	164	2
		37	47	57	67	77	87	97	107	117	127	137	147	157	167	174	2
		47	57	67	77	87	97	107	117	127	137	147	157	167	177	184	2
		57	67	77	87	97	107	117	127	137	147	157	167	177	187	194	2
		67	77	87	97	107	117	127	137	147	157	167	177	187	197	204	2
		77	87	97	107	117	127	137	147	157	167	177	187	197	207	214	2
		87	97	107	117	127	137	147	157	167	177	187	197	207	217	224	2
		97	107	117	127	137	147	157	167	177	187	197	207	217	227	234	2
		107	117	127	137	147	157	167	177	187	197	207	217	227	237	244	5
		117	127	137	147	157	167	177	187	197	207	217	227	237	247	254	10
		127	137	147	157	167	177	187	197	207	217	227	237	247	257	264	15
		137	147	155	167	177	187	197	207	217	227	237	247	257	267	274	23
	Max	145	155	165	175	185	195	205	215	225	235	245	255	265	275	282	30

[巾木の高さ寸法の出しかた：H - X - S = 巾木高さ]

1 巾木固定スライド2本を取り出します。

本体前面下部にある巾木固定スライド2本を引き抜いて取り出します。

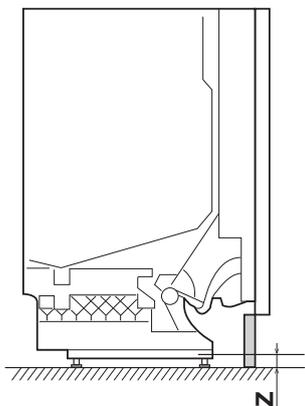


取り付け前の準備（つづき）

2 巾木固定スライドの取り付け位置を寸法出します。

床面から巾木固定スライドネジ穴中央までの高さを寸法出します。

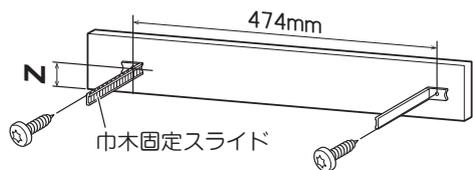
※ 床面から巾木固定スライドの固定用穴までの寸法（Z）を測定してください。



3 巾木固定スライド 2 本を巾木に取り付けます。

巾木固定スライドを巾木裏面の寸法出した位置にねじ 2 本で取り付けます。

※ 巾木取り付けに適したねじを使用してください。



4 フロントパネルを取りはずします。

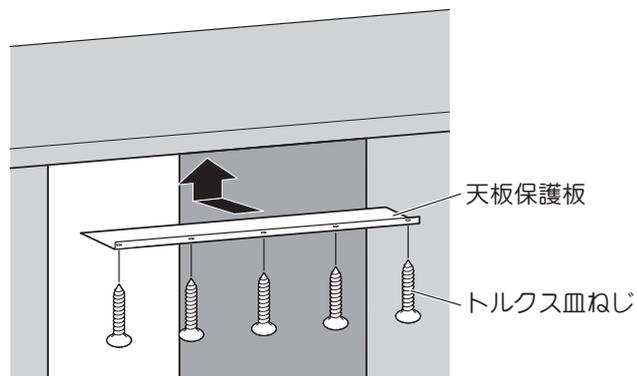
仮固定していたフロントパネルを取りはずします。

取り付け

天板保護板の取り付け

天板保護板を取り付けます。

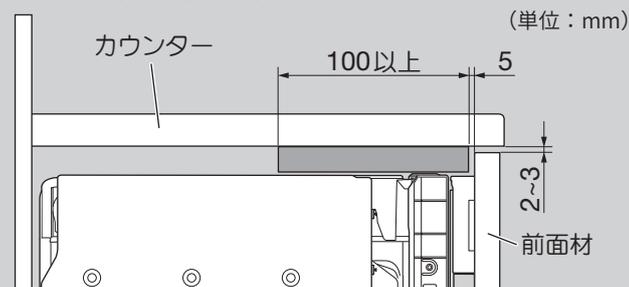
天板保護板（付属品）をキッチン天板の裏面にトルクス皿ねじ（φ3×16、天板保護板の付属品）5 本で取り付けます。



お願い 前面材の高さが製品高さを超える場合（業者手配）

- 結露防止用追加板の寸法を、100 mm以上確保してください。
- 前面材（フロントパネル）とカウンターとの間に、2～3mm程度の隙間を確保してください。

本体上部に結露を防ぐための乾燥ファンが付いています。空気循環が正しく行われるよう、各指定寸法を確保してください。



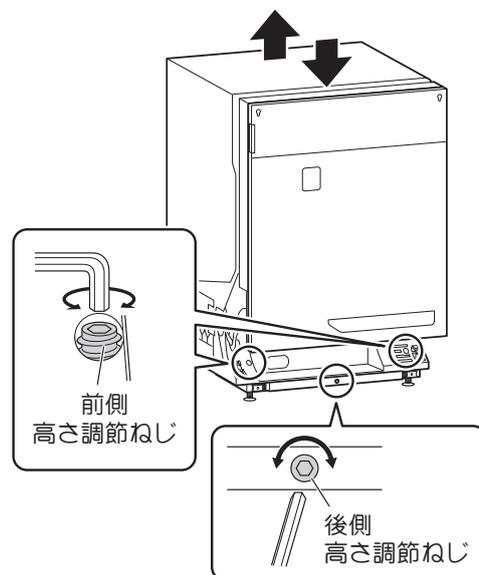
本体の設置

1 本体のおおよその高さを調整します。

開口部の高さに合わせて本体のおおよその高さを調整します。

※ 高さ調整は本体前面下部の各ねじで調整します。

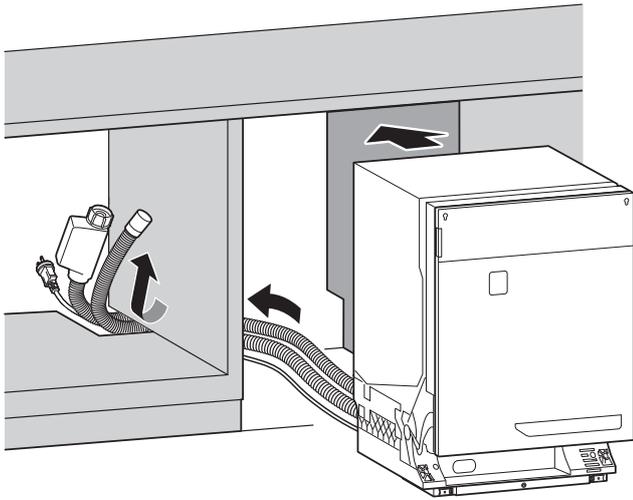
※ 適宜水準器で天面の水平を確認してください。



取り付け

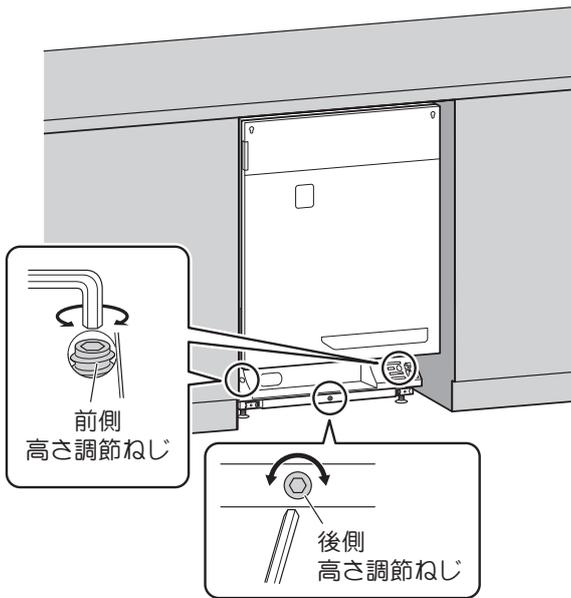
2 本体を設置場所に押し込みます。

コード・ホース類をキャビネットに引き込み、本体で挟まないように注意しながら本体を設置場所に押し込みます。



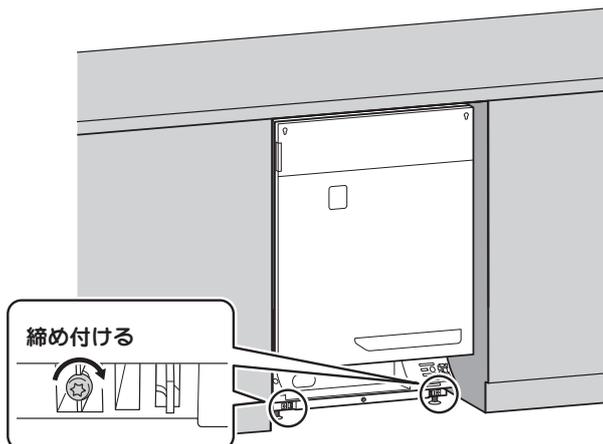
3 本体の高さを再調整します。

手順1で調整した3ヶ所の高さ調整ねじを増し締めし、本体にぐらつきやがたつきがないよう再調整します。



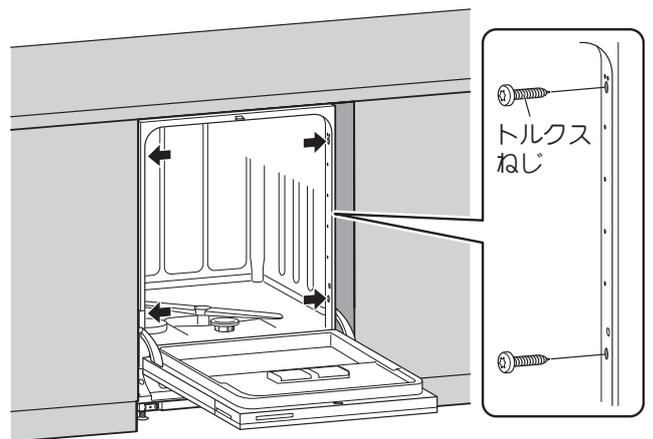
4 本体脚部近傍のねじを締め付けます。

トルクス用ビット (T20, 付属品) を使用し、下図に示す位置のトルクスねじ2本を締め付けます。



5 本体の側面を固定します。

高さの最終調整を完了してからドアを開き、下図矢印位置4ヶ所をトルクスねじ (φ4 × 20, 付属品) 4本で固定します。

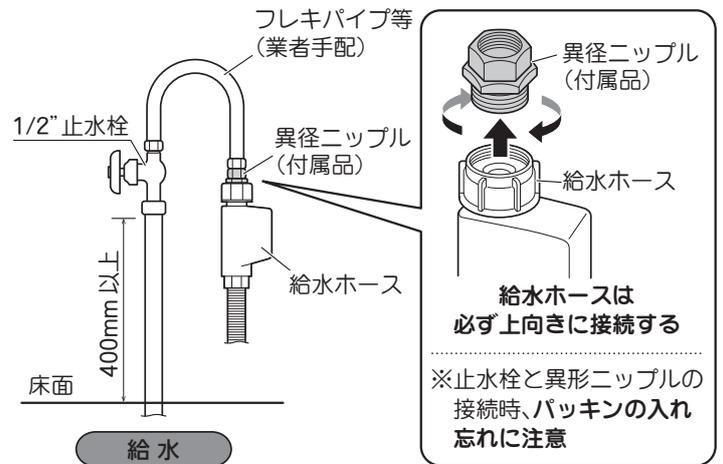


給水管への接続

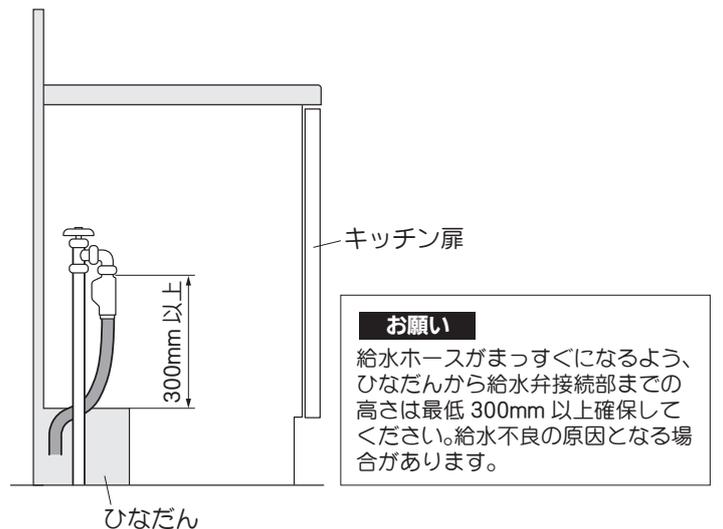
1 給水ホースを接続します。

給水ホースに異径ニップル (付属品) を取り付け、給水管の止水栓に接続します。

※ 給水ホースは必ず上向きになるように設置してください。



■ 造作 (ひなだん) との空間確保 (例)



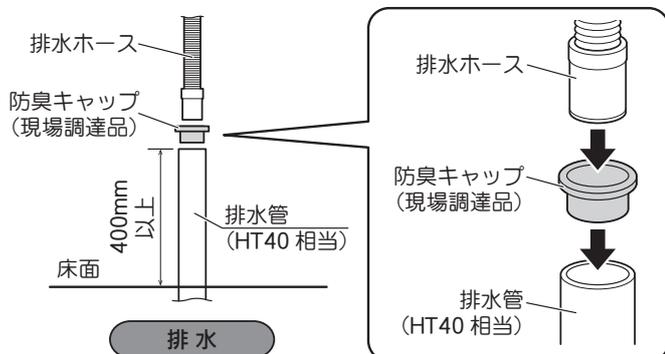
取り付け (つづき)

排水管への接続

1 排水ホースを接続します。

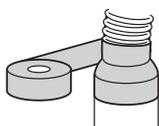
HT40 の場合

排水管に防臭キャップ (現場調達品) を接続し、排水ホースを挿入後、テーピングをして臭気止めをします。



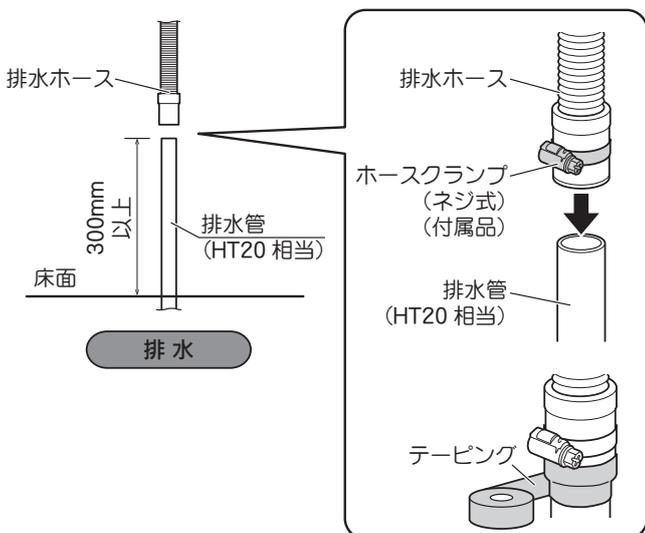
お願い

ホースを差し込みすぎると、排水不良の原因になります。
(防臭キャップから 100 ~ 150mm 程度差し込んでください。)



HT20 の場合

排水ホースにホースクランプ (付属品) を接続し、排水管に接続後、テーピングをして臭気止めをします。

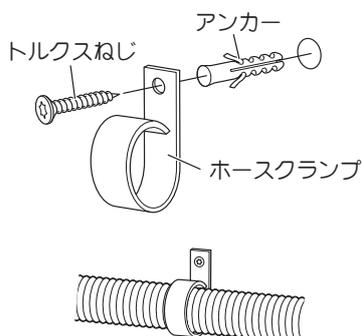


2 排水ホースを固定します。

ホースクランプ (付属品) で、排水ホースを任意の位置に固定します。

※ トルクスねじ (φ4 × 25, 付属品) 1 本で固定します。

※ 取付面に応じて適宜アンカー (付属品) を使用してください。

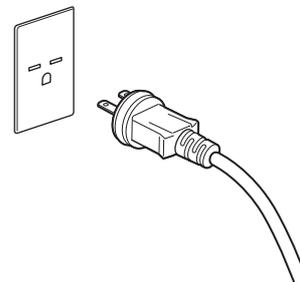


電源コンセントへの接続

電源プラグを専用の電源コンセント (単相 200V 15A) に接続します。

※ 漏電遮断器の設置を推奨します。

コンセント
(単相 200V/15A)



試運転

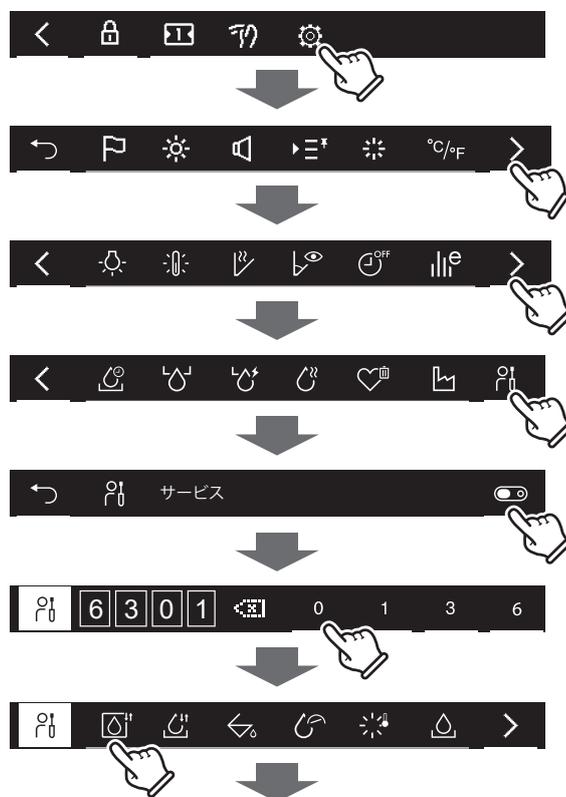
1 ブレーカーを「入」にします。

ブレーカー「入」後、ドアを開いて操作パネルが点灯していることを確認します。

※ ドアを開けた際、本体内に付属品や工具などの残置物がないことをあわせて確認してください。

2 メンテナンスモードにします。

1) 以下の操作手順でメンテナンスモードに入り、テスト運転を行います。



2) 15 秒以内にドアを閉め、2 分間待ちます。動作中はランプがオレンジ色に点灯します。

確認項目

噴射音	正常にバシャバシャ音がするか。 (一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する音)
-----	---

取り付け (つづき)

水漏れ	給水・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れがないか。
-----	------------------------------

3) テスト運転終了後、ブザー音が3回鳴って終了します。

確認項目	
排水状態	ドアを開け、庫内の水が排水されているか。
止水状態	電源が「切」の状態、給水口から水が出ていないか。

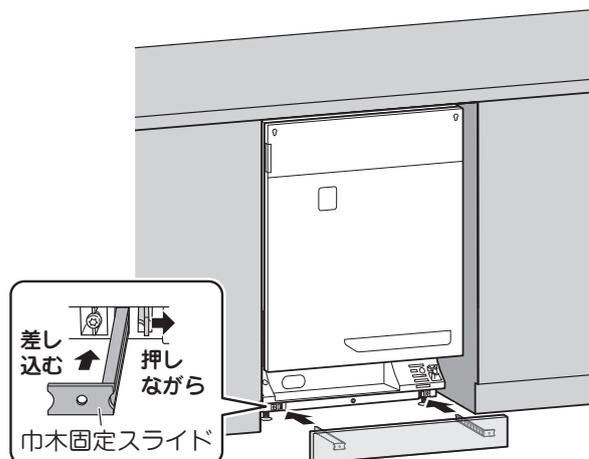
※ 試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。

※ 長期間使用されない場合は、万が一の水漏れ防止のため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

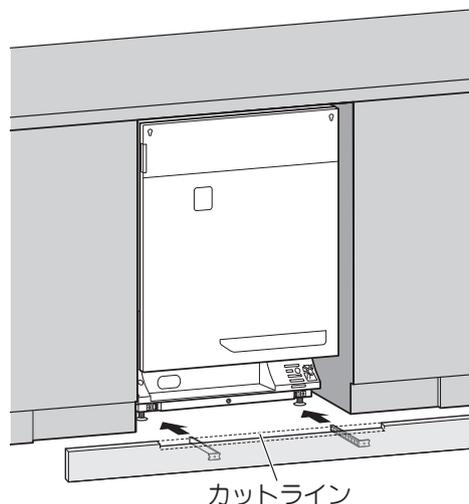
巾木・フロントパネルの取り付け

1 巾木を取り付けます。

「取り付け前の準備」で組み立てた巾木を取り付けます。

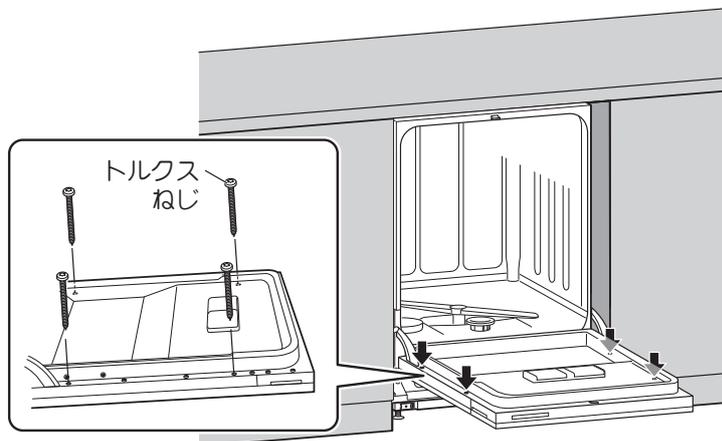


通し巾木の場合は当たる部分をカットして取り付けます。



2 フロントパネルを取り付けます。

- 1) フロントパネルのだるま穴を引っ掛けます。
- 2) ドアを開き、下図矢印位置 (4ヶ所) にトルクスねじ (φ 3.5 × 40, 付属品) 4本を取り付け、フロントパネルを固定します。



※ 前面材 (フロントパネル) とカウンターとの間に、2～3mm 程度の間隙を確保してください。

動作チェックリスト

点検箇所		点検内容	結果
機器および その周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	
	転倒防止・ 前ズレ防止	庫内側面 4 か所のねじ固定を行いましたか。(10 ページ参照)	
	面材の固定	トルクスねじ 4 本で面材を締め付けましたか。	
給水・排水接続	給水ホース	止水栓と異形ニップルの接続時に、パッキンを挿入しましたか。	
	排水ホース	排水管に防臭キャップを確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグを 200V 15A 以上のアースターミナル付コンセントに接続しましたか。	
		アース線を接続しましたか。	
試運転		正常に動作しましたか。	
試運転後		給排水ホースなどからの水漏れがないか確認しましたか。	
		止水栓は、開けたままになっていますか。 (本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください。) お客様に引き渡すまでは、必ず家屋の元水栓を閉めてください。	
		電源スイッチが「切」の状態、庫内の給水口から水が出ていないことを確認しましたか。	

お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。